

## ○関東・中部地方の地震活動

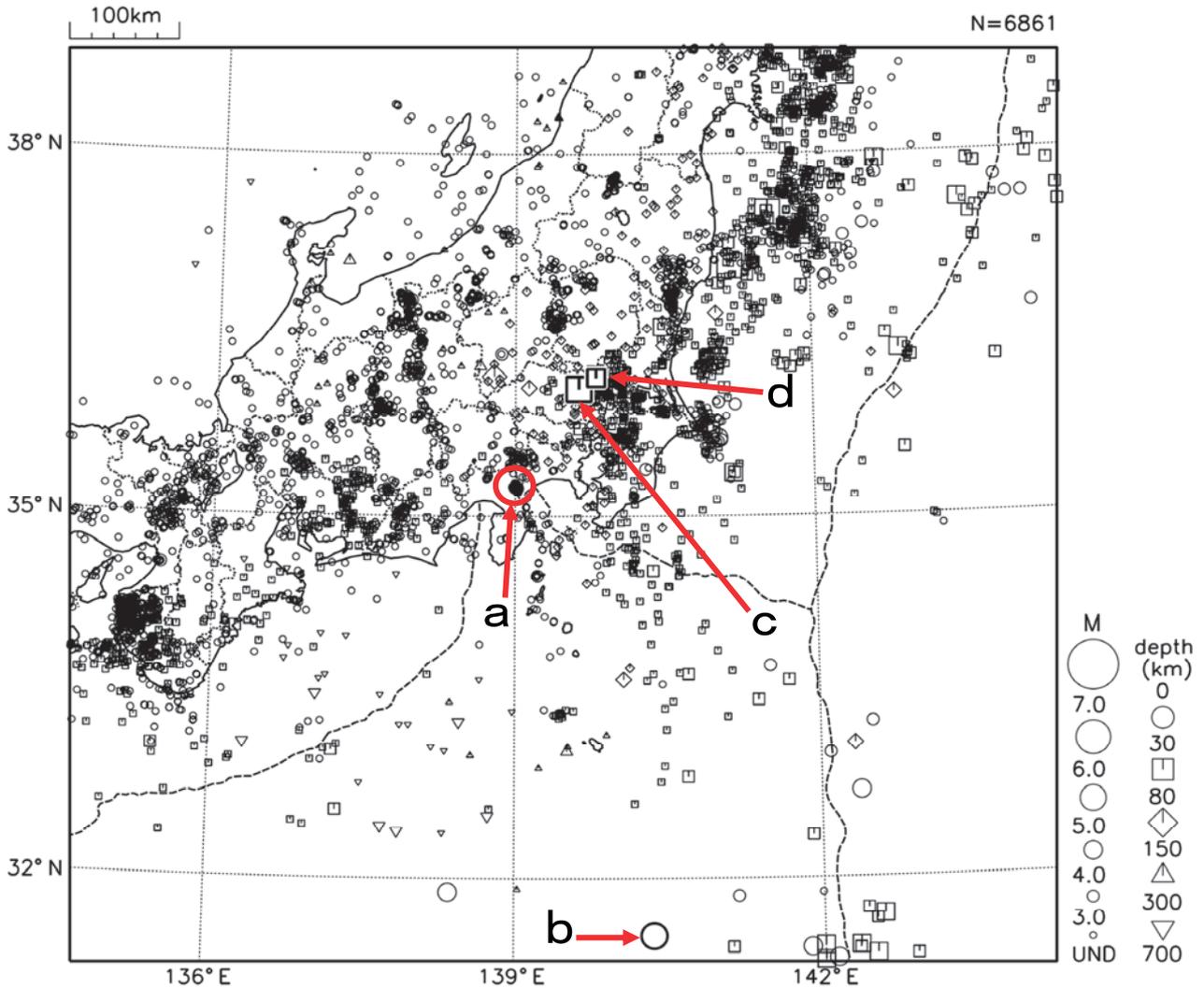


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年5月1日～5月31日）

### [概況]

5月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は80回（4月は56回）であった。5月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 9の図5、p. 10参照）。

2015年4月26日から、神奈川県西部で地殻内を震源とする地震活動（図6中の領域a）が活発になった（p. 15参照）。

3日01時50分に鳥島近海でM5.9の地震（図6中のb）が発生した。震度1以上を観測した地点はなかった。この地震により、千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（詳細は特集ページ（p. 59～61）を参照）。

25日14時28分に埼玉県北部の深さ56kmでM5.5の地震（図6中のc）が発生し、茨城県土浦市で震度5弱を観測したほか、関東地方を中心に東北地方から近畿地方の一部にかけて震度4～1を観測した（p. 6、16参照）。

30日01時06分に茨城県南部の深さ53kmでM4.8の地震（図6中のd）が発生し、群馬県桐生市で震度4を観測したほか、関東地方を中心に東北地方南部から中部地方にかけて震度3～1を観測した（p. 6、17参照）。